



シリーズ④～過半数代表者選出選挙について～

労働者が安全・健康・働きがいをもてる職場にするため、選挙に臨もう！

過半数代表選挙は決して(本質的な意味で)

会社 VS 労働組合ではない！！

何のための選挙なのか？目的を全従業員が理解しよう！！

～選挙にあたって、私たち労働者にとって重要なことは～

- 安全第一の職場環境で職務に遂行できること
- 健康面、衛生面で不安なく

職場の設備等が維持、改善されること

- 労働者の視点で、職場の実態を正確に把握し、
使用者側とは々非々で議論できる人を

過半数代表に選出すること

過半数代表者選出選挙を実施するような状況になり、7年余りが経過しました。職場に過半数を占める労働組合がない場合、現行法では毎年選挙を実施しなければいけません。残念ながらこの間JR東日本では特に労働組合未加入者から

“この人に投票したら人事評価に響くのではないか”

“職場の投票所について立てが無くて不安”

“投票用紙にナンバリングがされていた”

といった不安や不満の声が数多く出されています。なぜこのようになるのかと言えば、そのように感じさせてしまう側がいるからでしょう。

また選挙管理委員会を使用者側のみで運営していることにも疑問があります。職場の大多数は本体社員、テンポラリースタッフなど労働者で占めています。

ですから、**単に“会社” vs “労働組合”のような認識は捨てて改めて、労働者にとってふさわしく、プラスになる過半数代表を選出するため選挙の目的をしっかりと理解して、選挙・投票に臨みましょう！**

**いちばんの理想は、職場に過半数を占める労働組合があること！
労働者の視点で、過半数代表者選出選挙に臨もう！（完）**